

第Ⅰ分科会

自立した学習者を育てる 読むことの指導を目指して

自ら読みたくなる「海の命」「やまなし」の単元づくり

東京都小学校国語教育研究会 読むこと部 全体総務
練馬区立向山小学校 小松 沙織

本日の発表内容

- 1 研究主題の設定について
- 2 都小国研「読むこと部」で捉える
「言葉による見方・考え方を働かせる」とは
- 3 これまでの研究の流れ
- 4 実際の実践
- 5 成果と課題



1. 研究主題の設定 (1) 都小国研 研究主題

都小国研 研究主題

他者と協働し、豊かな言語 生活を実現する国語学習

R5年度 副主題

～「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる～

R6年度 副主題

～身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める～

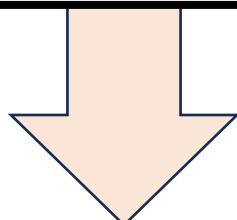
R7年度 副主題

～学びを通して身に付けた言葉の力を日常生活で生かそうとする～

1. 研究主題の設定 (2)読むこと部の研究主題の設定

【都小国研全体の研究主題】

他者と協働し、豊かな言語生活を実現する
国語学習



【読むこと部の研究主題】

自立した学習者を育てる
読むことの指導

1. 研究主題の設定 (2)読むこと部の研究主題の設定

【R5年度 都小国研全体の研究主題】

他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習
ー「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくるー

(1)「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる。

(2)児童が(本単元において)身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める。

(3)学習活動(言語活動)において、自らの考えをもち、多様な考えをもつ他者と関わり協働する中で、新たな考えをもち。

(4)獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにする。

①「読み方」を意識して読む

②自ら読み進める

(3)協働的に読む

(4)言葉や文章を大切にする

【読むこと部の研究主題】

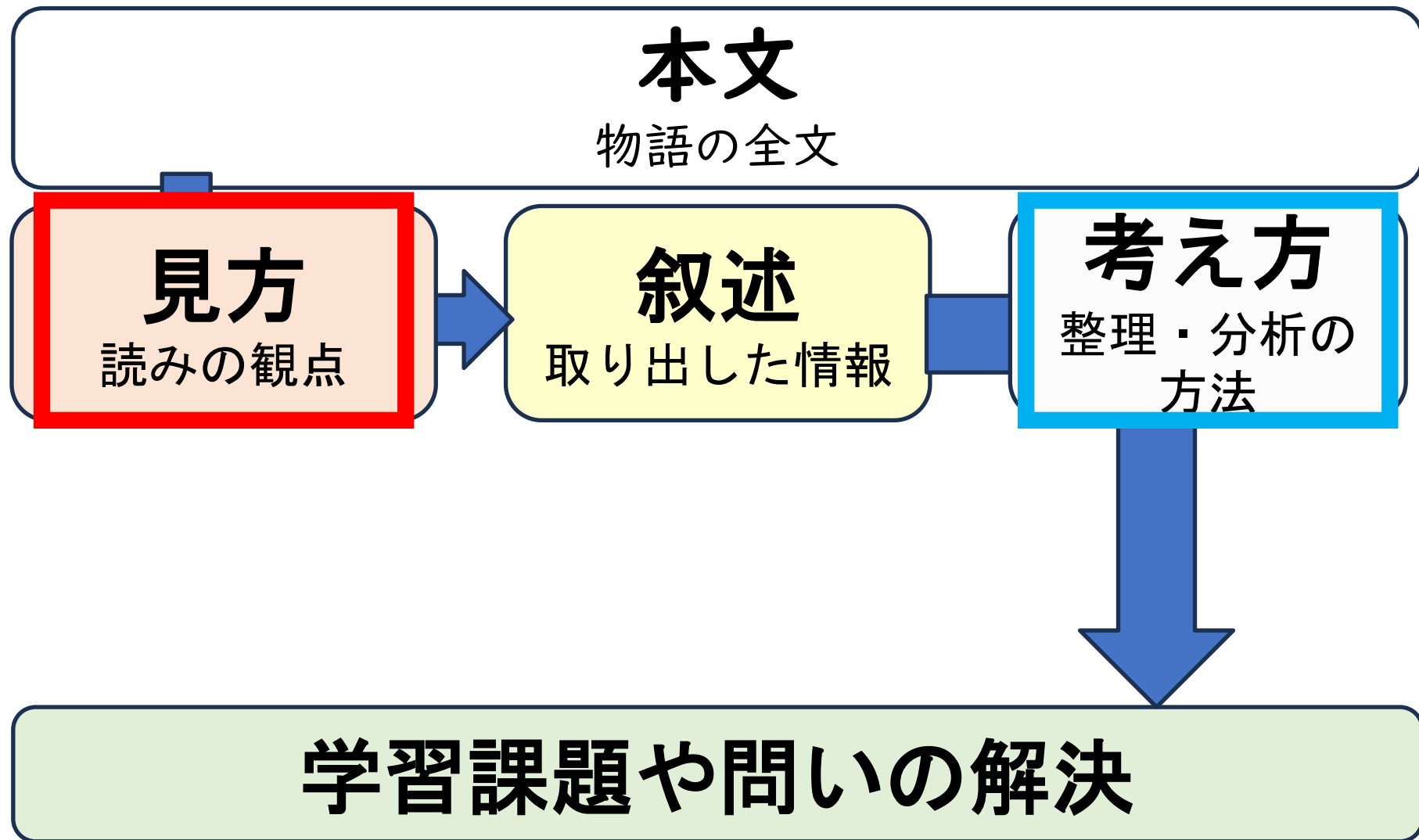
自立した学習者を育てる読むことの指導

本日の発表内容

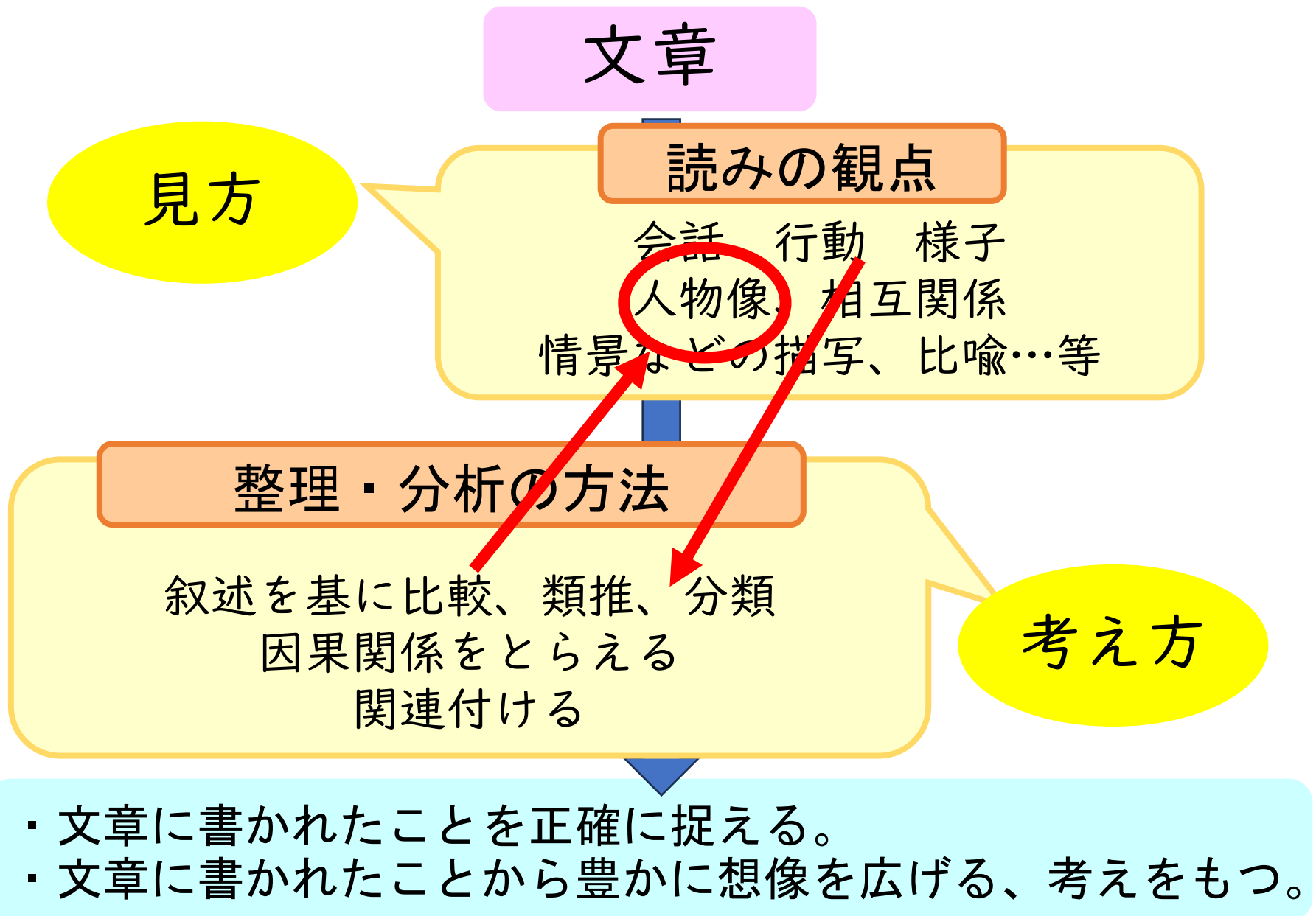
- 1 研究主題の設定について
- 2 都小国研「読むこと部」で捉える
「言葉による見方・考え方を働かせる」とは
- 3 これまでの研究の流れ
- 4 実際の実践
- 5 成果と課題



2. 都小国研読むこと部で捉える「言葉による見方・考え方」の働かせ方



2. 「言葉による見方・考え方」の働かせ方 (I) R5年度「見方・考え方」の具体化



本日の発表内容

- 1 研究主題の設定について
- 2 都小国研「読むこと部」で捉える
「言葉による見方・考え方を働かせる」とは
- 3 研究の歩み
- 4 実際の実践
- 5 成果と課題



【成果】

教師が「言葉による見方・考え方」を意識して指導できた。

【課題】

児童が「言葉による見方・考え方」を意識しながら文章を読むことができたかの検証には至らなかった。

3. 研究の歩み (2)R6年度 研究課題と全分科会共通の3つの手立て

【R5年度 読むこと部の課題】

児童が「言葉による見方・考え方」を意識しながら文章を読むことができたかの検証には至らなかった。

R6年度 副主題

～身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める～



【R6年度読むこと部 共通の3つの手立て】

教材分析表

教師の支援

振り返り

児童自身が「読み方」を意識

3. 研究の歩み (2)R6年度 研究課題と全分科会共通の3つの手立て

児童自身が「読み方」を意識できるように

教材分析表



教師の支援



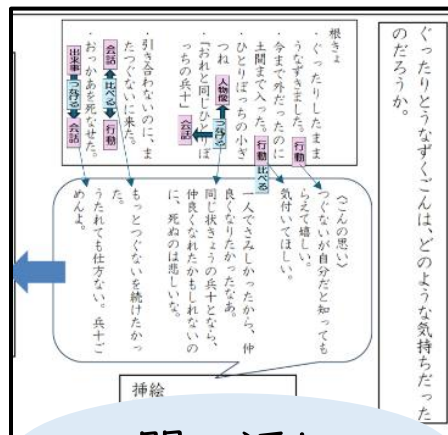
振り返り

問い

読みの観点

整理・分析の方法

身に付けたい力を明確化する



問い返し

価値付け

話型の提示

授業の中で意図的に取り上げる



「読み方」を意識した振り返り

「読みの足あと」

日常化

→自分の思考を表現できるようにする

【成果】

児童が自身の読み方を客観的に捉え、
「読みの足あと」に残すことができた。

【課題】

教師と児童のやり取りが多く、より
協働的な学びを実現させるための手
立てが必要である。

3. 研究の歩み (4)R7年度 全国大会に向けての見直し

【都小国研全体の研究主題】

他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習

**一学びを通して身に付けた言葉の力を
日常生活で生かそうとする一**

(1)「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる。

(2)児童が(本単元において)身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める。

(3)学習活動(言語活動)において、自らの考えをもち、多様な考えをもつ他者と関わり協働する中で、新たな考えをもち。

(4)獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにする。

①「読み方」を意識して読む

②自ら読み進める

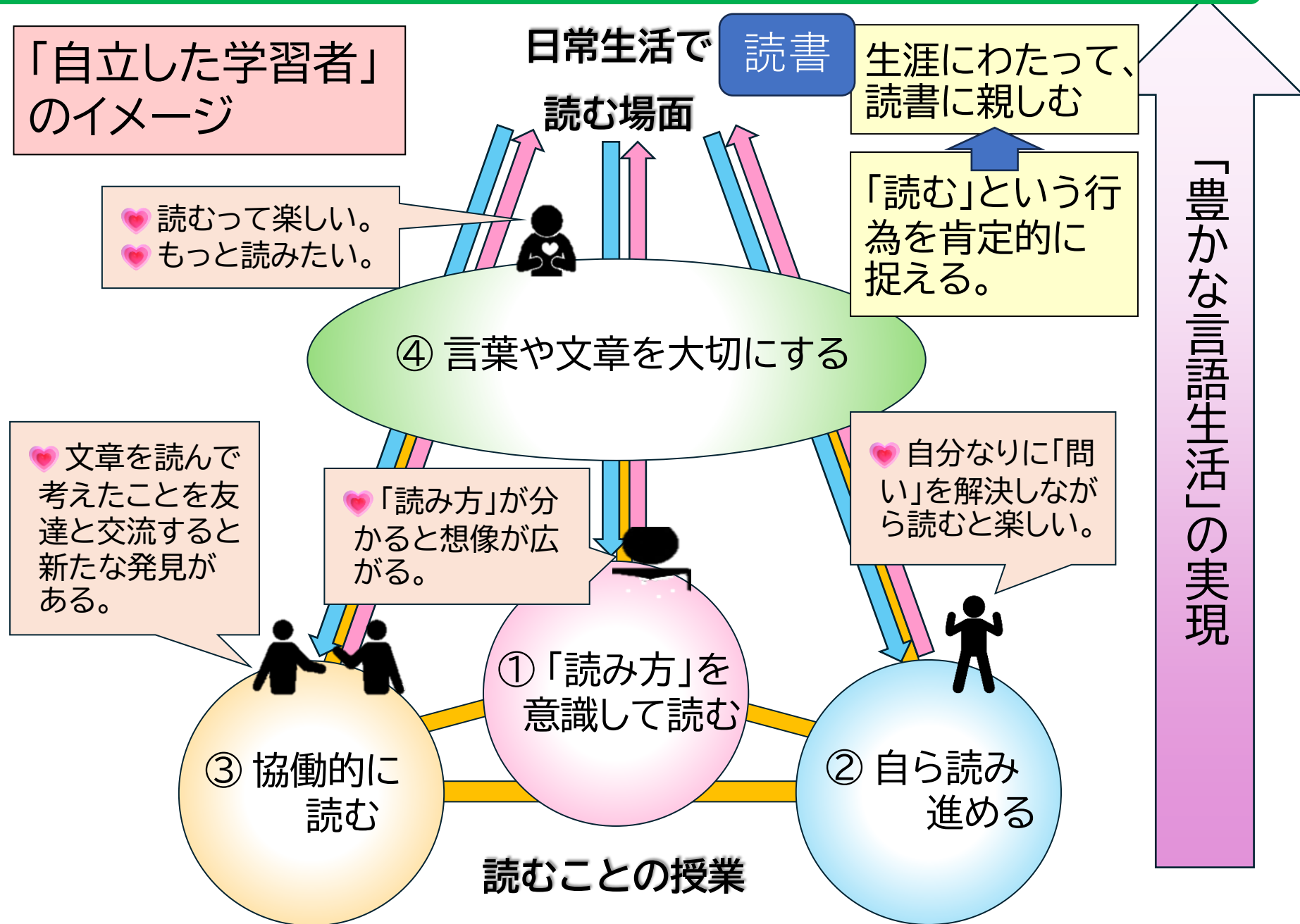
(3)協働的に読む

(4)言葉や文章を大切にする

【読むこと部の研究主題】

自立した学習者を育てる読むことの指導

3. 研究の歩み (3) R7年度「自立した学習者」をより具体化



2.「言葉による見方・考え方」の働かせ方

(3)R7年度 全国大会に向けての研究課題の設定

三年次の研究課題

「自立した学習者」を育てるために、単元と読書をどのように関連させて指導するとよいのだろうか。

本日の発表内容

- 1 研究主題の設定について
- 2 都小国研「読むこと部」で捉える
「言葉による見方・考え方を働かせる」とは
- 3 研究の歩み
- 4 実際の実践
- 5 成果と課題



4. 実際の実践 はじめに：高学年で目指したい姿

【読むこと部の研究主題】

自立した学習者を育てる読むことの指導

① 「読み方」を
意識して読む

② 自ら読み
進める

③ 協働的に
読む

④ 言葉や文章
を大切にする

既習の読みの観点
を活用して読む

課題や問いを立てる

自分の考えをもつ

交流によって
考えを深める



「読みたい!」という思い



高学年分科会の実践

第6学年

やまなし 私はこう読む
～多様な視点をもとに解釈を深めよう～

「やまなし」「イーハトーヴの夢」
(光村図書6年)

3. 実際の実践 (1)「やまなし」の実践 ①教材について

学習材「やまなし」

宮沢賢治の優れた表現を味わい深く読める作品である。

この言葉は見たことがないな。

何を伝えたいのだろう？

どうして「やまなし」という題名なのかな？

今までの物語文とはちがう…。



児童の「何だろう?」「分からない!」が自然と生まれる作品でもある。

東京都小学校国語教育研究会 読むこと部 令和七年二月

『イーハトーヴ』の夢		二、十二月	一、五月	始め	場面
宮沢賢治の経歴・人柄 ・裕福な家の長男・岩手 ・幼少期は小さく大人しい。 ・自然が好き。郷土愛 ・他人のために尽くす。 - 思想・理想 ・人々が安心して耕せる ・苦しい中に生き方ができる社会、人も動物も植物も心通い合う世界 - 影響した出来事 ・自然災害・妹の死 ・合理化する社会・作品批判 - 作品世界・他作品 ・イーハトーヴ・他作品		終わり 私の幻灯はこれでおしまいであります。	一、五月 かわせみ突然飛び込んできて魚を取っていく。く。兄弟おびえる 父やって来て、かわせみについて教え、兄弟を慰める。 かばの花びらが流れていく。 捕り・青く暗く銅のよう・日光の黄金・光のあみ・鉄色・黒・水銀のよう・青光りの・ぎらぎらする鉄砲玉のよう・コンパスのよう・ぎらぎらとくさくさ・つぶつぶ目が赤かった、白いかは花	始め 小さな谷川の底を写した一枚の青い幻灯です。 ・初夏・昼・日光 「二匹のかの子どもら兄弟」 水の底で話している。「クラムボン」は笑った 「殺された」オウム返しで兄弟区別つかない。 魚かたちの上を行ったり来たりする。光や波の美しさを「くちやくちやく」にする。「悪いことをして」 かわせみ突然飛び込んできて魚を取っていく。く。兄弟おびえる 父やって来て、かわせみについて教え、兄弟を慰める。	場面 概要
(宮沢賢治は) この物語から何を伝えたいのだろうか。					
題名『やまなし』に込められた意味や思いは何か。		作者・宮沢賢治はどのような人物か。(イーハトーヴの夢から「やまなし」を読み深める手がかりを見つけよう。)		『やまなし』の世界で、かにはどのような存在か。かには中心人物にしたことにどんな意味があるのか。(かには兄弟について読み取ろう)	
表現には、どのような工夫や効果、意味があるか。		◆読みの視点 ◆整理分析の方法		◆読みの視点 ◆整理分析の方法	
◆対比構造や表現の工夫などに着目して「やまなし」が何を暗示するかを想像し深める。 ◇五月と十二月の対比、様々な表現「イーハトーヴの夢」とのつながりなど、多様な根拠から「やまなし」という題名をつけた作者の意図や、そこから伝わることを考える。 ・やまなしに係る表現 ・十二月の描写、イメージ ・かわせみとの対比 ・イーハトーヴの夢とのつながり ・作者の人生や考えとのつながり		◆表現の工夫に着目してその効果や作者の意図を考え、物語の世界について想像し考えを深める。 ◇様々な表現について、対比したりつなげたりして読み深める。 ・五月と十二月の様子を比べる ・青く暗く・青白い 「銅のよう」「やわらかな丸石」 ・やまなしやかわせみにまつわる表現を比べる 「さらさらする鉄砲玉のよう」 ・底光り・光をくちやくちやくに ・トブン・さらさら・ぼかぼか		◆「イーハトーヴの夢」を読んで作者について知る。 ・境遇や人柄・思想や理想 ・影響を与えた出来事・他作品 ◇「やまなし」につなげながら読み、 「やまなし」の解釈を深める。 ・石と賢さん・自然愛 ・自然の素晴らしさと恐ろしさ ・相次ぐ自然災害・妹の死 ・困難の中でも諦めない、希望 ・自己犠牲・他者や故郷への献身 ・近代化する世の中への警鐘 ・人も動物も自然も大切にしたい ・賢治の理想の世界「イーハトーヴ」	
◆「やまなし」の解釈を深める。 ◇五月と十二月の対比、様々な表現「イーハトーヴの夢」とのつながりなど、多様な根拠から「やまなし」という題名をつけた作者の意図や、そこから伝わることを考える。 ・やまなしに係る表現 ・十二月の描写、イメージ ・かわせみとの対比 ・イーハトーヴの夢とのつながり ・作者の人生や考えとのつながり		◆「イーハトーヴの夢」を読んで作者について知る。 ・境遇や人柄・思想や理想 ・影響を与えた出来事・他作品 ◇「やまなし」につなげながら読み、 「やまなし」の解釈を深める。 ・石と賢さん・自然愛 ・自然の素晴らしさと恐ろしさ ・相次ぐ自然災害・妹の死 ・困難の中でも諦めない、希望 ・自己犠牲・他者や故郷への献身 ・近代化する世の中への警鐘 ・人も動物も自然も大切にしたい ・賢治の理想の世界「イーハトーヴ」		◆「イーハトーヴの夢」を読んで作者について知る。 ・境遇や人柄・思想や理想 ・影響を与えた出来事・他作品 ◇「やまなし」につなげながら読み、 「やまなし」の解釈を深める。 ・石と賢さん・自然愛 ・自然の素晴らしさと恐ろしさ ・相次ぐ自然災害・妹の死 ・困難の中でも諦めない、希望 ・自己犠牲・他者や故郷への献身 ・近代化する世の中への警鐘 ・人も動物も自然も大切にしたい ・賢治の理想の世界「イーハトーヴ」	

3. 実際の実践 (1)「やまなし」 ②教材分析表

(宮沢賢治は) この物語から何を伝えたいのだろうか。

単元を中心課題となる
「大きな問い」

表現には、どのような工夫や効果、意味があるか。

作者・宮沢賢治はどのような人物か。
(イーハトーヴの夢から「やまなし」を読み深める手がかりを見つけよう。)

毎時間のめあてとなる
大きな問いを解決する
ための「小さな問い」

その時間に活用したい
読みの観点
整理・分析の方法

「読みの観点」や「整理・分析の方法」を働かせて読んだ際の児童の読みの予想

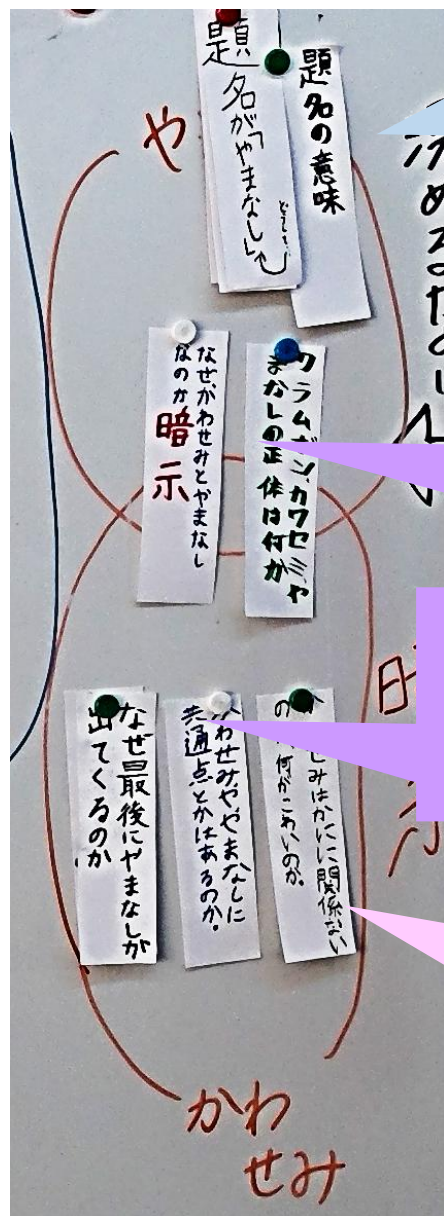
「イーハトーヴの夢」を読んで作中人物の個性について知る。
境遇や人柄・思想や理想・影響を与えた出来事・他作品「やまなし」につなげながら読み「やまなし」の解釈を深める。
石こ賢さん・自然愛
自然の素晴らしさと恐ろしさ
相次ぐ自然災害・妹の死
困難の中でも諦めない、希望
自犠牲・他者や故郷への献身
近代化する世の中への警鐘
人も動物も自然も大切に
賢治の理想の世界イーハトーヴ

▼表現の工夫に着目してその効果や作者の意図を考え、物語の世界について想像し考えを深める。
様々な表現について、対比したりつなげたりして読み深める。
五月と十二月の様子を比べる
青く暗く・青白い
「鋼のよう」「やわらかな丸石」
やまなしやかかわせみにまつわる表現を比べる
「ぎらぎらする鉄砲玉のよう」
「きらきらつと黄金のぶち」
底光り・光をくちやくちやにトブン・さらさら・ぼかぼか

宮沢賢治について知れば分かるかもしれない。
幼いころから自然や生き物が好きだった。
「石こ賢さん」と言われるくらい小さくて弱かった自分と、かにを重ねて描いたのでは。
人の力ではどうにもできない自然災害を、かわせみとして描いたのだと思う。
十二月の美しい情景描写は、賢治の愛した自然の素晴らしさを伝えたかったのかな。
五月の「鋼のよう」、魚の「鉄色」、かわせみの「ぎらぎらする鉄砲玉」等の表現は賢治が反対していた「合理化する世の中」につながりそう。
魚の死は妹の死から来ているのかな。
「よだかの星」を読んだら、醜いよだかが懸命に生きていた。そういう小さいものや弱いものに目を向けてほしくてかににした。

「日光の黄金」と「ラムネのびんの月光」は対比になっている。他にも五月と十二月で対比になっている表現がありそう。
かわせみは「ぎらぎら」で、やまなしは「きらきらつ」というオノマトペで表されていることは、何か意味がありそう。
五月は昼なのに「青く暗く」という表現で、十二月は夜なのに「青白い」という色が多い。黒っぽいと不吉で、白は明るいイメージ。
五月の最後に「白いかばの花」は怖いことは終わったという希望かも。
五月の「かばの花」はお葬式の花だと思ふ。
「トボン」「トボン」より「トブン」だとやわらかい感じがする。

3. 実際の実践 (1)「やまなし」の実践 ③「問いづくり」からの読みたい



「やまなし」という
題名の意味とは？

なぜ「かわせみ」と
「やまなし」なのか

「かわせみ」と「やまなし」
に共通点はあるのか

なぜ、かには「かわ
せみ」が怖いのか？

「かわせみ」
と「やまなし」を対比し
て読みたい！



3. 実際の実践 (1)「やまなし」の実践 ④「作者」を読みたい

賢治が生きていた時代は戦争の時代

人生

知ることが
解しゃくにつながる?

川や池底に
残こくな世間
こわい

かには弱い存在だから

かには立場が上なのか?

食べられる存在だから
下なんじゃない?

宮沢賢治はかになが好きな
なのかも...

昔の人だから戦争とかが
関わっているのかも...

平和
ゆったり
落ちついている

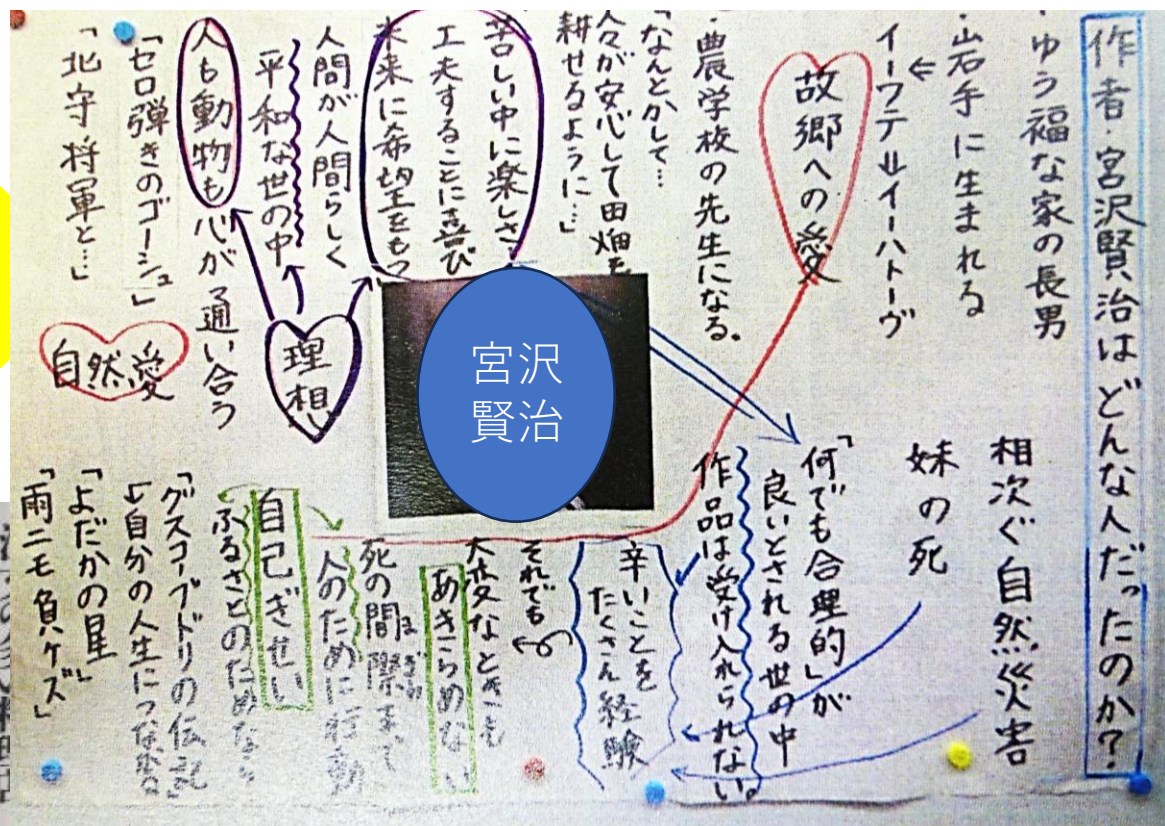
「やまなし」
魚が
月が
敵が

かにを物語の中心にした意味
は何だろうか?



3. 実際の実践 (1)「やまなし」の実践 ⑤「他作品」を読みたい

いつでも手が届く
教室環境



他の作品にも手がかりがありそう。

他の作品も
読んでみたい。



3. 実際の実践 (1)「やまなし」の実践 ⑥読みの足あと

見方
読みの観点

考え方
整理・分析

挿絵

挿絵

自分も
ここを読みたい
こうやって読みたい



3. 実際の実践 (1)「やまなし」の実践 ⑦単元末の言語活動

初発からの自身の変容を実感できるゴール設定

初発

初めて読んで...
この物語は、兄弟の成長も
ものがたっていると思います。
なぜなら五月は、かわせみに
どじっていただけ、十二月は、わ
みではなかつたけど、首を
くめるだけだったので、成長
たのびました。

学習を終えて...

ぼくは、成長の物語だと思ってい
たりですが、カニの会話表現、
イーハトーヴをよく見ていくと、
成長ではなく人間とカニの幸
は、同じということか分かる
ですが、みんなの意見を聞
ていくと、残こくというお
い解りくもあって、とても
おもしろかったです。
あと、題名はなぜやまなしな
と考えたときは、表現にも
わりを感じたので、すこ
か深い物語だなと実感です。

終末

「やまなし」 わたしは、こう読んだ!

の身の周りで起きたことや経験も
「なげろ」という技能が身についたと思
それ意外にも「やまなし」の中にあ
スケールの大きい物が、かびあか
です。「やまなし」の題名の意味を考
物もあったのでよかったです。
今後、物語を学習すると思うので
この「なげろ」というのを大事にし
です。ですが、「なげろ」だけで読み
物語もあると回るので、ちがつ技能
身に付けられるようにしたいです。



この学習で「つな
げる」ということ
が身についた。
他作品から似てい
ることや真逆のこ
ととつながられ、
「イーハトーヴの
夢」から賢治の経
験も作品に表れて
いた。

高学年分科会の実践

第6学年

伝え合おう、太一の生き方 私の
生き方

～物語から見つけた生き方を
自分の生き方とつなげて考えよう～
「海の命」(光村図書6年)

3. 実際の実践 はじめに：高学年における自立した学習者とは

【読むこと部の研究主題】

自立した学習者を育てる読むことの指導

① 「読み方」を
意識して読む

② 自ら読み
進める

③ 協働的に
読む

④ 言葉や文章
を大切に読む

既習の読みの観点
を活用して読む

課題や問いを立てる

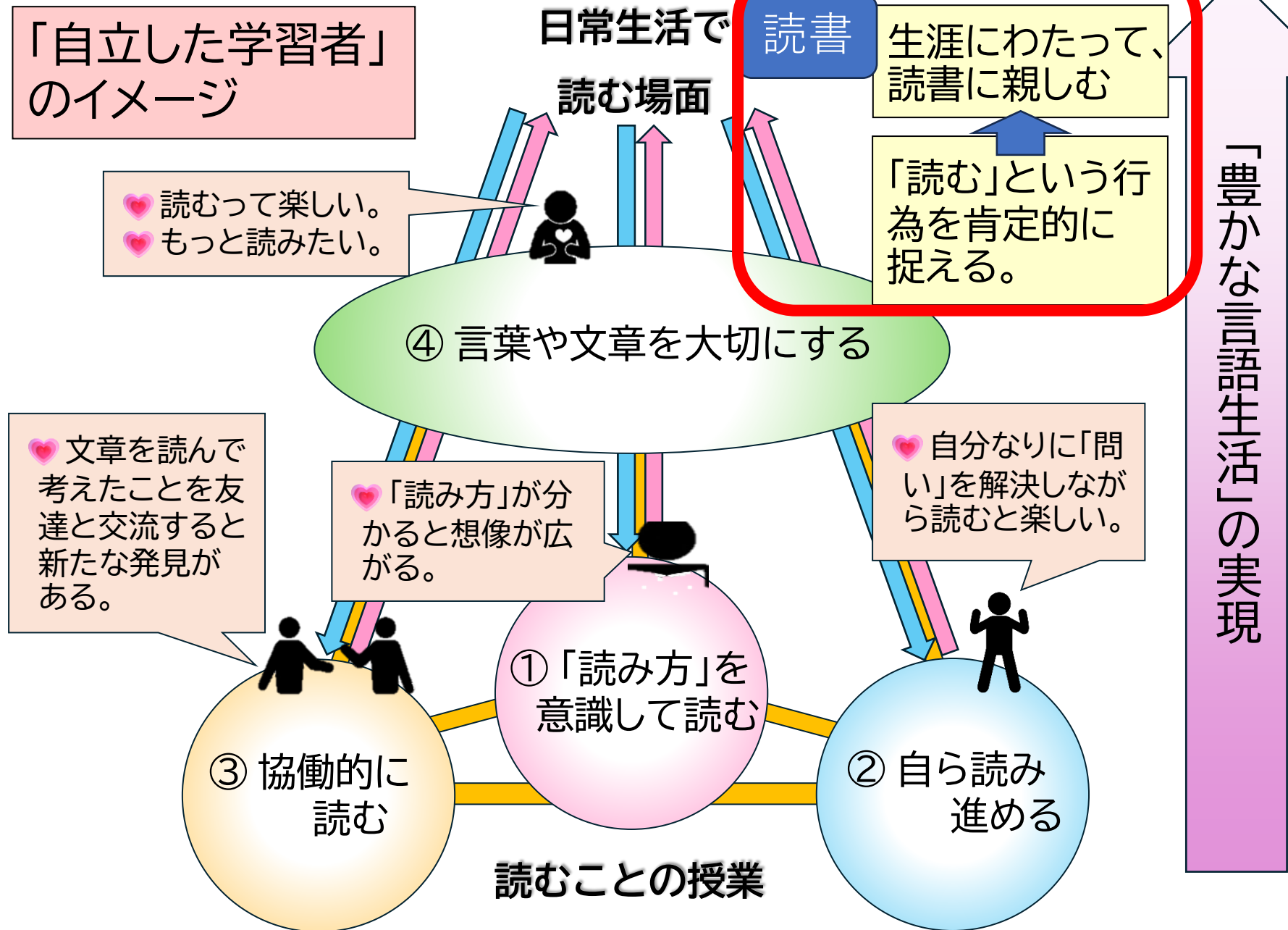
自分の考えをもつ

交流によって
考えを深める

「読みたい!」という思い



3. 実際の実践 (3)R7年度の実践「海の命」「自立した学習者」をとり目体化



2. 実際の実践 (3)R7年度「海の命」導入の工夫「読書」との出会い

読書についてのアンケートの実施

1. 本はよく読みますか。 *

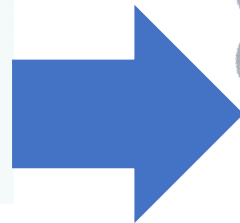
- ☐ よく読む
- ☐ まあまあ読む
- ☐ あまり読まない
- ☐ ほぼ読まない

2. どんな理由で、読む本を選んでいきますか。 *

回答を入力してください

3. 友達と本について話すことがありますか。 *

- ☐ よく話す
- ☐ ときどき話す
- ☐ あまり話さない



読書経験について話合う

読書に関するアンケートの実施

- ①本をよく読みますか。
- ②友達と本について話すことがありますか
- ③(②で「ある」と答えた人のみ)どんなことを話しますか。
- ④本を読むよさとは、どんなことだと思いますか。

2. 実際の実践 (3)R7年度「海の命」導入の工夫「読書」との出会い

読書に関するアンケートの実施

1. 本をよく読みますか。 *

- ☐ よく読む
- ☐ まあまあ読む
- ☐ あまり読まない
- ☐ はば読まない

2. どんな理由で、読む本を選んでいきますか。 *

回答を入力してください

3. 友達と本について話すことがありますか。 *

- ☐ よく話す
- ☐ ときどき話す
- ☐ あまり話さない

物語を読むとワクワクする。

ファンタジーが人気ということはおもしろいのかな。

もっと色々な本を読みたいな。

読んだことを自分に生かしたい。



読書経験についての話し合い

「読書」を意識付け

2. 実際の実践 (3)R7年度「海の命」 導入の工夫 作品との出会い

学習材「海の命」

中心人物・太一が様々な出来事や周りの人々の影響を受けて成長する。山場の太一の決断に対し、多様な考えをもつことができる。

太一の海への
思いが強くて
心に残った。

太一は色々な人にお
世話になって立派な
漁師になったのだな。

太一は、
なぜ最後に大魚
を殺さなかった
のだろう？

与吉じいさやおと
うの言葉に込めら
れた意味は？

「母の悲しみさえ
も背負おうとして
いる」とはどうい
うこと？

物語から「生き方」を
見つけ、つなげたい



3. 実際の実践 (3)R7年度「海の命」 生き方につなげた教材分析

6 太一のその後の人生	5 ついに潮の主と対峙した太一	4 母のおそれと父の海にもぐった太一	3 太一の成長と母吉いさの死	2 母吉いさへの弟子入りと吉いさの教え	1 幼い太一の夢と父の死	場面
太一と家族のその後 太一は村一番の漁師で、美しい子孫を四人にふくらめたおばあさんに、おまけに一人前の漁師に育った。 村一番の漁師 母吉いさの死 母吉いさの死	太一と家族のその後 太一は村一番の漁師で、美しい子孫を四人にふくらめたおばあさんに、おまけに一人前の漁師に育った。 村一番の漁師 母吉いさの死 母吉いさの死	母のおそれ 成長した太一が「おそれ」を捨て、「おまけ」に太一に伝えた。 母吉いさの死 母吉いさの死	母のおそれ 成長した太一が「おそれ」を捨て、「おまけ」に太一に伝えた。 母吉いさの死 母吉いさの死	母のおそれ 成長した太一が「おそれ」を捨て、「おまけ」に太一に伝えた。 母吉いさの死 母吉いさの死	母のおそれ 成長した太一が「おそれ」を捨て、「おまけ」に太一に伝えた。 母吉いさの死 母吉いさの死	母のおそれ 成長した太一が「おそれ」を捨て、「おまけ」に太一に伝えた。 母吉いさの死 母吉いさの死

物語から見つけた生き方を自分の生き方とつなげて考えよう

読みの観点

様子・会話・行動

心情

情景

人物像

相互関係

心情・考え方の変化

整理・分析の方法

比較

関連付け

予測

自分につなげる

類推

海の命を守り、家族も大切に作る太一こそ、本当の一人前の漁師だ。

おとうだと「思うことによつて」とあるから、本当におとうだと思ったわけじゃないと思う。

「海の命」を守ろうとしている。それが「海で生きる」ということか。

「千びきに一ひき」の教えを、太一は最後の場面でも守っている。

父とじいさの死の受け止め方のちがいに、太一の成長を感じる。

母にとっては、父を奪った恐ろしい場所でもあったのだと思う。

美しい描写から、父の海は太一にとって特別な場所だと分かる。

2. 実際の実践 (3)R7年度「海の命」 中心課題の設定・・・「生き方」を読みたい

物語から見つけた生き方を自分の生き方とつなげて考えよう

これまでに読んだ作品の中心人物はどのような
「生き方」をしていたか？

「イーハトーヴの夢」
(宮沢賢治)

- ・ 自分を犠牲にしてでも、人のために尽くして生きた。
- ・ 故郷の自然を愛して生きた。

「やなせたかし
アンパンマンの勇気」

- ・ 人を喜ばせたいという強い思いをもっていた。
- ・

「大造じいさんとガン」

- ・ 執念を燃やし、努力して生きていた。
- ・ 正々堂々とした生き方
- ・ 猟師としてプライドをもって生きた。



物語文の中にも「生き方」がある。

「生き方」とは何か

- ・何を大切、尊敬、尊重しているか。
- ・どのような行動をするか、しないか
- ・どんな信念や思いをもっているか

→ 掲示物

《生き方》
何を大切・尊敬している
どんな行動をするしない
どんな信念や思いをもっているか

→ ワークシート
(読みの足あと)

生き方 ・何を大切にするか ・どんな信念、思いをもつか ・どんな行動をする、行動をしないか	自分の生き方につながりそうなこと
--	------------------

2. 実際の実践 (3)R7年度「海の命」 単元末の言語活動・・・「楽しいから」読みたい

【終末の言語活動】

物語から見つけた生き方を自分の生き方とつなげて考えよう

「海の命」

既習の物語

読んだことのある物語

教師が紹介したブックリストの物語



同じ本を読んで
も考えが違って
おもしろいな。



自分の「いち推し」
の生き方を、知って
ほしい

物語について
友達と話す
って楽しい。

これまでに読
んだ本も読み
返したい。



2. 実際の実践 (3)R7年度「海の命」

単元末の言語活動・・・「自分に合った本を」読みたい

「生き方」が読める本のリストを作成

	題名	作者	出版社
1	サンドイッチクラブ	長江優子	岩波書店
2	モギ ちいさな焼き物師	リンダ・スー・パーク	あすなろ書房
3	ぼくとベルさん	フィリップ・ロイ	PHP出版
4	虹いろ図書館へびおとこ	櫻井とりお	河出書房新社
5	みんなのためいき図鑑	村上しい子	童心社
6	西の魔女が死んだ	梨木香歩	新潮社
7	獣の奏者	上橋菜穂子	講談社
8	成瀬は天下を取りにいく	宮島未奈	新潮社
9	じぶんの木	最上一平	岩崎書店
10	ジャガーとのやくそく	アラン・ラビノヴィッツ	あかね書房
11	半日村	斎藤隆介	岩崎書店
12	グスコブドリの伝記	宮沢賢治	リトル・モア
13	モモ	ミヒヤエル・エンデ	岩波書店
14	スイミー	レオ・レオニ	好学社
15	大造じいさんとガン	椋鳩十	理論社
16	ぼくのブック・ウーマン	ヘザー・ヘンソン	さ・え・ら・書房



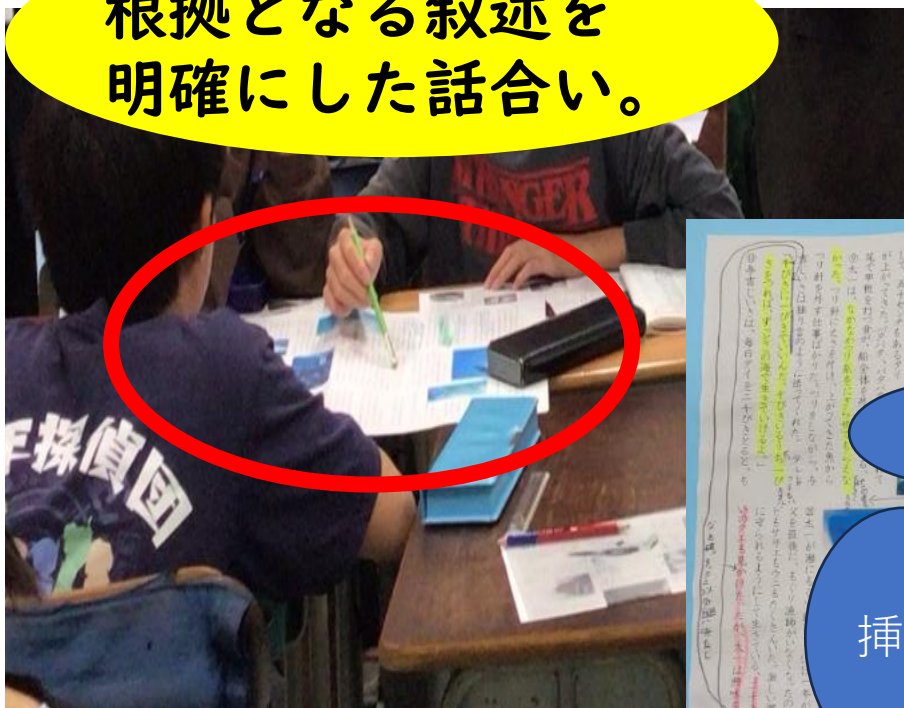
様々な実態の児童に対応できる
多様な本を取り入れる。

いつでも手に取って読みこと
のできる環境

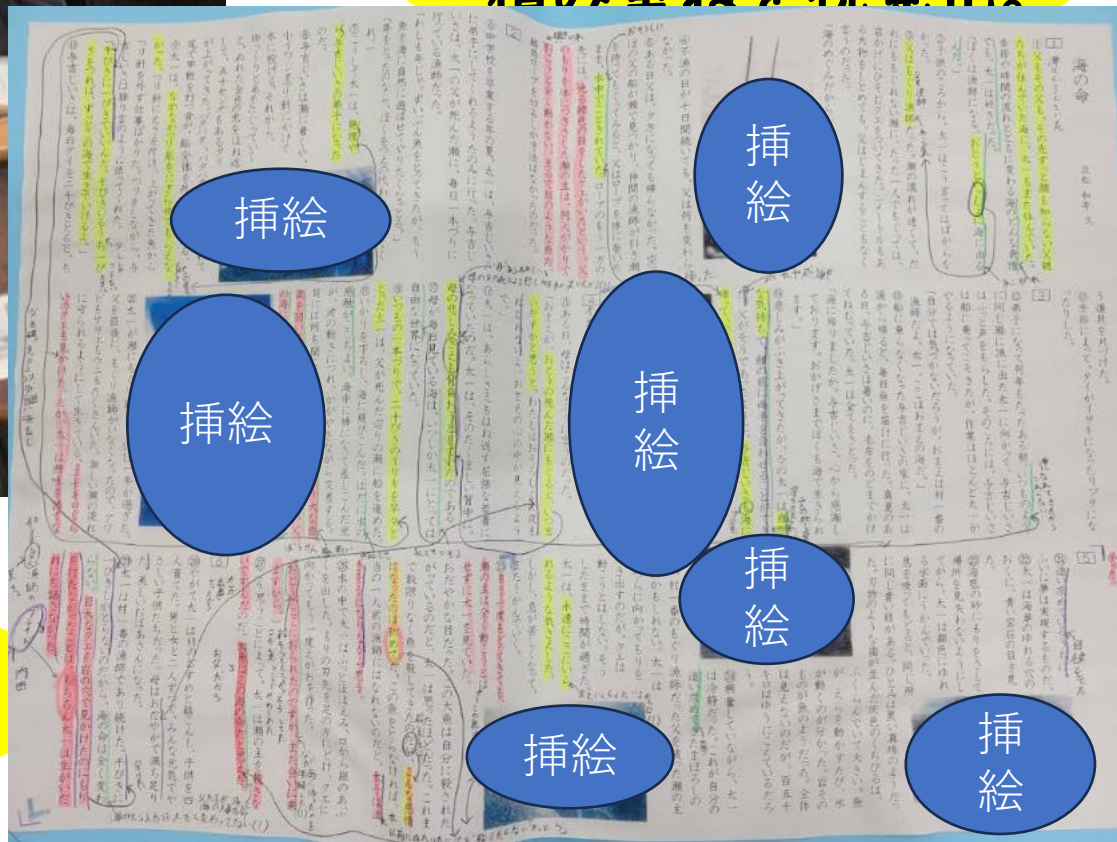
2. 実際の実践 (3)R7年度「海の命」 交流の工夫・・・「みんなで」読みたい

交流用の拡大全文シートの活用

根拠となる叙述を
明確にした話合い。



サイドラインの
色を変えて読みの
積み重ねを視覚化。



物語について話合う
楽しさ・良さを実感。

本日の発表内容

- 1 研究主題の設定について
- 2 都小国研「読むこと部」で捉える
「言葉による見方・考え方を働かせる」とは
- 3 研究の歩み
- 4 実際の実践
- 5 成果と課題



【令和7年度 研究課題】

「自立した学習者」を育てるために、単元と読書をどのように関連させて指導するとよいのだろうか。

【成果】

- ・導入や単元構成を工夫し、学習に必然性をもたせることができた。
- ・単元の学習と日常の読書とをつなげる手だてを具体化できた。

【課題】

児童が読むことのよさや面白さに気付けるようにするための「読書」以外の手だても視野に入れて研究を進めていく。

5. 成果と課題

(1) 成果①「読み方」の獲得

自らの「読み方」
の積み重ね

挿絵

挿絵

「読みの観点(見方)」や
「整理分析の方法(考え方)」
の具体化

5. 成果と課題 (1) 成果①「読み方」の獲得

読みの足あと

やまなしにこめられた思いは、イーハトーヴの夢に書かれている賢治の理想に注目したら分かった。

やまなしにこめられた思いは、イーハトーヴの夢に書かれている賢治の理想に注目してみたら分かった。さらに、他作品からつなげて考える大切さを、みんなの意見を聞いて知りました。今回はできなかったけど、どこかの国語の授業で生かしたいです。

他作品とつなげて考える大切さをみんなの意見を聞いて知りました。今回はできなかったけど、どこかの国語の授業で生かしたいです。

言語活動

これからはその作者独自の表現を見逃さず、なんでこの表現なのかを考える。

その作品に固しつするのではなく、他の作品も読んでみるといいと知った。

「読み方」の獲得から
「読みたい」が生まれる

5. 成果と課題

(1) 成果②読書から「生き方」を見付ける

生き方

- 何を大切にするか
- どんな信念、思いをもつか
- どんな行動をする、行動をしないか

物語の題名「グスコブドリの伝説」
登場人物「グスコブドリ」

「物語から見つけた生き方とは、ブドリは、人を助けるため、気候が原因で市民の飢饉状態を爆発させ気温を上げ、飢饉は小さい頃から家が貧乏でいて食い繋ぐという、非営利活動がない辛さや、今昔の差、だからこそ、自分について、この話を読んで私に、助けたいとはとてもないなと思いました。その人の気持ちや、今知らないうちに、ブドリの豊かな想いについて考え深く共感し、持ちを抱ける共感力があつた。そして私は、人を大切にしたいです。小さいことでいいので、自分が見つけた人が「良かった」とか「見えて想像し、落とし物をした」として生きたいと思いました。

既読の物語の 新たな価値

しました。
はにして、火山島
ました。ブドリ
失って1人で働
たからこそ、食
事実を知って
かなと思いま
と思いまし
人を見た時
ることはでき
る前にいない
えることがで
また、その事
い」という気
る人間になり
たら、どこかに
それを見つけた
思ってくれる所
人のために行動

7 物語から見つけた生き方と自分の生き方をつなげて考えよう。

私は「言葉を大切に
にして読む力」が
一番身に付いたと
思います。

(中略)

今回身に付けた力
は、この物語だけ
はでなく、これか
ら読む物語にも大
切な力だと思いま
した。

【単元の振り返り】
私は「言葉大切に読む力」が一番身に付いたと思います。
なぜなら、海の命を守りますが、登場人物が、発言してるところ
ふくまれているので、よく見ることで、できたかどうですか。また、
にしながら、読むことで、その登場人物の人物像が、わかって
映像、人物像を想像する力も身に付いたと思います。
自分が気づかなかったことは、友達との交流で、気づく
交流、するものが、大したこと、ない。今回の身に付けた力
けでなく、これから読む物語にも大切な力だと思いました。

ブドリは人を助けるために自分
を犠牲にする生き方をしました。
(中略)
私は人を大切にし、人のために
行動できる人間になりたいです。

「言葉を大切に
する」意識

5. 成果と課題

(2) 課題①「日常」に読書を

【課題】

①子どもたちの読書の幅を広げるには
至らなかった。

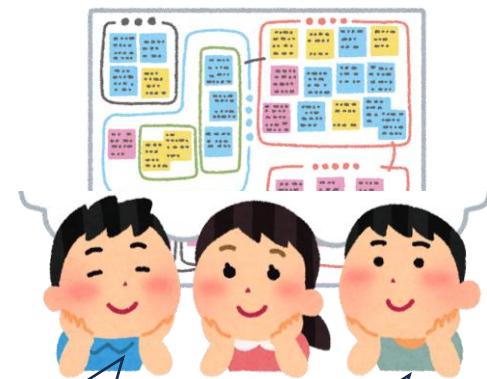


読む時間の確保



ブックリスト
の見直し

場の設定



この「生き方」が
素敵だな。

この本を読んだ子
がたくさんいる。

【課題】

- ② 「読むこと」の学習を日常につなげるための「読書」以外の手立て

語彙の拡充

他教科との連携
カリキュラム・
マネジメント

全国小学校国語教育研究大会 (東京大会)

11月19日・20日…授業日は20日(金)

第1会場 品川区立大井第一小学校

第2会場 台東区立松葉小学校



ご清聴ありがとうございました。